

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名	こども療育スポット キャンパス		公表日		令和8年2月27日		利用児童数		令和8年1月12日 22人		回収数		16 (72%)			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応									
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2				定員数10、指導訓練室は設置基準の約2倍の面積を設けています。								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			1	適切で目が行き届いていると感じます。	基準人員の他、加配職員を常に2名以上、必要な資格・経験を有する者を配置しています。								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			2	子どもが、今は何をやる時間だと言うことをしっかり理解できるような環境になっていると思います。	間仕切りを設置して活動場所を分け、わかりやすい空間にしています。視覚的な刺激を減らすような物の配置、スケジュールの視覚化等の構造化を行っています。								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1		1		心地よく活動しやすく過ごせるように、すっきりした空間作りをし、午後2時及び業務終了後の清掃と2時間毎の消毒を行っています。視覚的に安らげるように玄関やトイレに花を飾ることを心掛けています。								
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2		2	・その態度、声をかけていただけることで、本人がやりやりの仕方を学んでいっていると思います。 ・専門性がある方とそうでない方がいるのかなと感じています。	児童発達支援管理責任者が個別支援計画を、専門職が専門的支援実施計画を作成し、各計画及びこどもの特性等は常に共有して、こどもの理解と専門性のある支援の提供を図っています。								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			3		支援プログラムに沿って、活動計画と専門的支援実施計画を作成し、支援を行っています。支援プログラムと提供する支援内容が連動する構成としています。								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					相談支援事業所が作成した生活プランを基に、保護者様への聞き取りや、アセスメントを行い、ニーズや課題を客観的に分析したうえで作成しています。								
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1		全ての項目において、こども一人ひとりに合わせた支援内容を設定しています。また、具体的な支援内容を設定すると共に、特に本人支援の支援内容については「支援の提供上のポイント」をより個別かつ専門的な視点で設定しています。								
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1		1		日々の支援記録と月次記録、半年の総括は、個別支援計画の各自標ごとに項目を分けて作成しています。これにより、日々、計画に沿った支援が行われているか、評価に対してどのような成果が得られているかを常に評価する仕組みを整えています。								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	3		1		月毎の目標、ねらいに基づき、週毎に活動プログラムに段階を設け、変化をつけるように工夫しています。一週間同じテーマを継続することで、初めてのことが苦手なこどもも安心して挑戦し、成功体験を積めるように配慮しています。								
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	4	8		児童の特性や状態などを勘案して、必要時には他施設との交流や活動を検討したいと考えています。								
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					利用契約時に説明を行っています。								
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15			1		年に2回、面談を行い、個別支援計画を示しながら、支援内容の説明を行っています。								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	3	7		児童発達支援センター主催の家族支援の勉強会（年1回程度）のお知らせなどを配布します。								
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16					連絡帳の活用、電話や面談での対応を随時行い、共通理解を図っています。								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16					年2回、面談があるので、達成できたこと、これからの課題を知ることができています。	引き続き、定期的な面談（年2回）の実施、情報提供、担当者会議の出席、適宜の連絡等を行います。							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2				・子どもの思いを認め、支援したいと聞いています。 ・職員によってばらつきがあると思います。	週1回の倫理綱領の読み合わせや朝礼等を通じて、共感的な支援の心構えや具体的な方法について、職員間で共有し、振り返り、考える機会を設けています。							
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。		2	7	6		保護者様同士の連携支援及びきょうだい同士での交流については、保護者様からの要望に応じて、検討していきたいと考えています。									

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	4				相談や申入れの対応の体制を整備し、利用契約時に説明し、明記した契約書をお渡ししています。また、相談等を受けた際は、直ちに管理者に報告し、対応について全職員が共通認識を持つよう朝礼等を通じて共有しています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					送迎時、連絡帳、電話、メールなどの情報伝達手段があり、連絡等を受けた際は、内容を記録して共有し、遺漏なく対応できるよう体制を整えています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	2	5	普段、見ることがなかったので、分からないままでした。	活動概要及び支援プログラム、自己評価結果は、ホームページにて公開しています。通信等の発行を検討しています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				1	個人情報には口外・持ち出し禁止、資料は鍵付き書庫に保管しています。職員は秘密保持誓約を結び、情報漏洩の防止策を講じています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	1	3		各マニュアルを策定・周知し、職員への必要な訓練を行っています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	3		7	今までそのような経験をしていないため、判断できません。	非常災害（地震・火災・風水害）に備えた避難訓練（各年1回以上）と意識啓発を行っています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		3		安全計画を策定・周知し、職員への意識啓発を行っています。所内外の安全管理については、ヒヤリハット報告等を活用し、要因を分析（人的・物的・環境的・管理的要因）し、事故を未然に防ぐための対策を講じることで、安全な支援環境を整えています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	2	1	2	今まで、そのような経験をしていないため、判断できません。	事故等が発生した際は、速やかに連絡を行い、状況説明を行うようにしています。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16					本人が「行きたい」と言って通所しているので、安心しています。	今後も安心感をもって通えるように、子ども一人ひとりをおまかせに受け入れ、心に寄り添った温かい支援を提供していきたいと考えています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	1		・お友達とのやりとりですが、それ以上に先生との会話を楽しみに通っているようです。 ・以前は楽しく！でしたが、学校のお友達がいないこともあり、「行きたくない」と言っています。	楽しみに通えるように、子ども同士の人間関係や職員の間わりなどにも配慮し、事業所として、より好ましい場を作りたいと考えています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16					先生方によく声をかけていただき、本人がそれをとても喜んでくださいます。いつもありがとうございます。	引き続き、安心・安全な環境設定と、専門的な支援、心の通い合う温かい支援の向上を図り、より質の高い支援を提供していきたいと考えています。